

当面の経済政策

田中 修

はじめに

1-3月期の成長率は一段と減速したが、これを受け、様々な会議が開催されている。本稿では、そのうち4月14日に開催された経済情勢座談会における李克強総理の発言と、4月30日に開催された党中央政治局会議の概要を紹介する。

1. 経済情勢専門家・企業責任者との座談会（4月14日）

（1）出席者

- ①専門家：李楊、胡鞍鋼、海聞、汪濤、吳曉波
- ②企業：中興、ハイアール、新松ロボット、網易公司の責任者
- ③政府側：李克強総理、張高麗副総理、劉延東副総理、汪洋副総理、馬凱副総理、楊晶国務委員、王勇国務委員

（2）李克強総理の発言

グローバル経済の深い調整とわが国の発展が新常态に入った大背景の下、中国経済は鍛え磨かれながら前進しており、成長率等の主要指標は合理的区間にあり、雇用は基本的に安定し、所得は同歩調で増加し、GDP単位当たりエネルギー消費は低下している。

同時に、新旧産業と発展の動力エネルギーの転換は、正に接続のカギとなる時期にあり、積極的要因と新興パワーが累積しており、業種・地域の動向には分化がみられ、構造調整の立ち上がりがあった企業・業種・地域の動向は好転しているが、下振れ圧力がなお引き続き増大していることをも冷静に見てとらねばならない。

我々は科学的に情勢の動向を見てとらねばならず、客観要因を分析するとともに、主観的な原因を探さなければならない。長期的に好い方向へ向かうことに自信をみなぎらせるとともに、より大きな困難・試練に対してしっかり準備しておかなければならない。

とりわけ、新たに生まれたパワーの育成をより重視し、発展の新たなチャンスをしっかり掴んでうまく使い、政策の新たな局面を奮闘して切り開かなければならない。

わが国の発展には巨大な潜在力・強靱性・挽回の余地があることを十分認識しなければならない。中央経済工作会議の要求に基づき、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、冷静さを維持し、柔軟に施策を行い、区間コントロールの基礎の上に方向を定めたコントロールを強化し、新たな情況・新たな問題に対して、多様な政策手段をうまく使い、成長の安定・雇用の維持・効率向上という基盤をしっかり守らなければならない。

安定成長と構造調整のバランスをしっかりと把握しなければならない。

政府活動報告が確定した、①大衆による起業・万人によるイノベーションと公共財・公共サービスの増加という2つのエンジンの製造、②「インターネット+」行動計画の推進、③「中国製造2025」の推進、④中国装置産業の海外進出と国際的な生産能力協力の推進、⑤情報インフラ建設の強化、⑥現代サービス業の発展等の一連の安定成長・構造調整のための有力措置は、巨大な内需の潜在力を発揮させることができる。

政策措置と関連プロジェクトを早急に完全実施し、不足部分への投資を精確に増やし、イノベーション・起業政策の組合せを整備し、経済の安定成長と構造の最適化・グレードアップを促進する新たな動力エネルギーを形成しなければならない。

経済の安定成長を促進するには、改革・イノベーションの動力エネルギーを十分用い、構造的改革により構造調整を推進することを堅持し、障害を打破し難関を乗り越え、中国経済の長期的な安定を実現しなければならない。

政府の自己革命のノルマを増やし、行政の簡素化・権限の委譲、開放と管理の結合を引き続きより深く推進し、行政審査・許認可の一層の削減を通じて、市場の活力と発展を制約する各種の束縛を打破しなければならない。

財政・税制、金融、価格、投融資等の一連の改革を同歩調で推進し、相乗効果の形成により改革のボーナス効果を発揮させなければならない。

開放の門戸を更に大きく開き、国際協力・競争に積極的に参加する中で発展の余地を開拓しなければならない。

各レベルの幹部は精神を奮い立たせ、主動的に成果を上げなければならない。各専門家・企業家は良策を多く謀り、有効な方法を多く出さなければならない。皆が共同で努力し、今年の開発の主要目標任務を完成するための基礎をしっかりと固め、中国経済の中高速発展維持を推進して、ミドル・ハイエンド水準に邁進しなければならない。

2. 党中央政治局會議（4月30日）

今年に入り、複雑な内外環境の下、各地方・各部門は党中央の政策決定・手配を真剣に貫徹し、マクロコントロールの方式を刷新し、改革の全面深化によって経済発展・構造調整・民生改善を促進し、経済運営を合理的区間に維持してきた。

1-3月期の経済成長は予期目標と合致しており、雇用情勢は安定し、都市・農村住民の所得は平穩に増え、改革の全面深化は着実に推進され、経済構造の戦略的調整は徐々に深化されている。需要構造・生産構造・企業の組織構造・製品構造・ビジネスモデルにはかなり大幅な調整が発生しており、新たな成長スポットは蛹を破って出ようとしている。

同時に、新たな成長動力は形成中であり、外需は収縮しており、内部の多様な矛盾が重なり合い、経済運営の動向には分化がみられ、下振れ圧力は依然かなり大きい。

当面の経済政策をしっかりと行うに際しては、18回党大会・18期3中全会・4中全会精神を全面的に貫徹し、中央経済工作会議の手配に基づき、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、経済発展の新常態に積極的に適応し、経済運営を合理的区間に維持しなければならない。

経済発展の質・効率の向上を中心とすることを堅持し、マクロ政策を安定させ、ミクロ政策を活性化させ、社会政策で底固めをしなければならないという総体的な考え方を堅持し、マクロ政策の連続性・安定性を維持し、方向を定めたコントロールを強化し、遅滞なく事前調整・微調整を進め、経済の下振れ圧力への対応を高度に重視し、改革開放の歩みを加速させる。安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止の総合的バランスを維持し、各方面の積極性を動員し、政策実施にしっかりと取り組み、経済の持続的で健全な発展と社会の大局的安定を促進する。

積極的財政政策については公共支出を増やし、税率の引下げ・費用の整理を強化しなければならない。

金融政策については程度をしっかりと把握し、金融政策の実体経済への伝達ルートの疎通を図ることに注意を払わなければならない。

投資のカギとなる役割を発揮させることを重視し、投資プロジェクトを真剣にしっかりと選択し、市場も長期リターンもあるようにしなければならない。

財政・税制、金融、投融資体制改革を全体として推進し、重大インフラプロジェクト・地方公共プロジェクト・実体産業において一部の資金循環が滞っている問題をしっかりと解決しなければならない。

消費需要の拡大を重視し、消費の潜在力を的確に掘り起し、消費財の質とサービス水準の向上に努め、新たな消費の成長スポットを育成しなければならない。

市場環境を整備し、遊休資産を活性化させ、不動産の健全な発展のための長期に有効なメカニズムを確立しなければならない。

イノベーション駆動による発展を、わが国経済が動力を転換させるカギとし、企業の技術改造を推進し、過剰生産能力を解消する政策を着実に順序立てて推進しなければならない。

各種リスクの防止・解消に注意を払わなければならない。

中央が国有企業改革を堅持するという方向に変化はない。法に基づき民営企業の財産権を保護するという方針に変化はない。対外開放と外資利用を堅持するという政策にも変化はない。

発展は、党の執政・興国の第一の重要任務であり、質・効率の高い発展を、「発展は絶対の道理である」という戦略思想の内在的要求としなければならない。

新常態の下、各レベルの指導幹部の経済政策は、旧い道への依存を脱却し、発展動向の認識と経済情勢の精確な分析、良好な市場環境の創造、経済人材の発見・使用、財産権・知的財産権の保護、社会の公平・正義の擁護等の新たな技量を掌握しなければならない。

良好な精神状態を維持し、調査・研究と政策指導を強化しなければならない。

各レベル幹部が進んで開拓し、成果を上げることを奨励・支援しなければならない。

必ず状況を完全に理解し、実質を把握し、矛盾・問題に対して政策を推進し、実施にしっかり取り組み、領土を守ることに責任をもち、責任を負い、責任を尽くすという正確な方向性を樹立しなければならない。

(5月1日記)